

〈東京都立大島海洋国際高等学校 TEL:04992-4-0385 FAX:04992-4-1764〉

メールアドレス：S8000531@section.metro.tokyo.jp

HP アドレス：<http://www.osima-kaiyokokusai-h.metro.tokyo.jp/index.html>

姉妹校との相互発展

校長 大塚 健一

日頃より皆様には本校に対する御支援、御協力を賜り心より感謝申し上げます。はじめに、台風 26 号による甚大な被害により亡くなられた方々のご冥福をお祈り致しますとともに、ご遺族の皆様にご哀悼の意を申し上げます。また、被災された皆様にご心よりお見舞い申し上げます。こうした状況の中で本校は大島町の地域の皆様と共に復興と発展に向けて歩む必要があります。

さて、本校は開校して8年になります。昨年から本格的に国際交流教育を進めて来ましたが、実施して行くには国際的視野を持ち、長期的な相互理解と安定した関係が求められます。そして、次年度はサイパンにおける短期ホームステイプログラムを実施する予定です。そこで、今回の大島丸の第二次国際航海中の Saipan Southern High School の生徒たちとの国際交流実施に合わせてサイパンの市長、領事館に表敬訪問致しました。それは、今後の国際交流教育の内容を充実する事と相手国に信頼できる姉妹校が必要になるためです。本校の目的を果たすためにも姉妹校は欠かすことのできない条件になります。

今年度はこのように、特色ある体験的国際教育を保持するために、隣国との良好な関係を維持して現地領事館、自治体・高校、大学との関係を密接に保つ努力をして来ました。まず、5 月に在日韓国大使館、国立釜山海事高校、釜慶大学との相互理解を深め、12 月はサイパンの市長と領事館に表敬訪問を行い、Southern High School との姉妹校調印を済ませました。これにより両国における国際交流は安定した教育活動ができると確信しています。また、今年度から学校運営組織に国際部を立ち上げて組織的な活動ができるようにしました。国際部で次年度の国際交流の企画、運営、具体的な工夫を組み入れた計画を進めています。それも生徒が各国際航海を立派にやり抜いてくれたから推進できるのです。

本校の「海を通して世界を知る」教育のテーマは確実に築かれています。今後も、タフな日本人として国際視野を高めてほしいと願っています。

平成25年12月2日

Southern High School における
Jonathan Cabrera 校長と大塚校長
との姉妹校調印時の記念撮影



Ⅱ 類 2 次国際航海学習

1 1 月 1 3 日より乗船して行われていたⅡ類2次国際航海学習は、沖縄・サイパンに寄港し、1 2 月 1 4 日に下船式を迎えました。生徒の感想文を掲載します。

【航海学習終了に当たっての感想文】

谷 海聖

1ヶ月前、期待と不安を胸に乗船しました。この1ヶ月間、たくさんのことを考え、学び、実行してきました。この航海で成長したことはまわりをみて、切り替えができるようになりました。それは、自分だけがいつまでもヘラヘラしては他人に迷惑をかけ、船の上では命の危険につながることもあります。そのような状況におかれることは普段の生活ではあまりないので、緊張感が出て素早く動くこともできるようになりました。また、作業が終わりや、人と話し合った後はどこが良かったか悪かったか、よく反省をするようになりました。次はこうしよう、あの時はもっとこう言えば良かったなどと反省しました。次に活かすことは航海だけでなく普段の生活でもできることがあるので、今後も続けていきたいです。

個人的に毎日航海日誌をつけていて、見返すと、楽しかったことや辛かったこと、将来を考えること、たくさん思い出が綴ってありました。この日誌は一生大切に保管します。この日誌は決して私1人で完成させることができたわけではありません。同じ乗船メンバーとたくさんの壁を越え、船員さんが時に厳しく、時に優しく、たくさんの事を教えてくれたからできた日誌なのだと感じます。サイパンの国際交流、底釣り実習、

南硫黄島の観察など普通では絶対にできない経験を何度も行う事ができました。それはたくさんの人の支えがあったからこそできたことなのだと感じています。国際航海に関わったすべての人に感謝の気持ちでいっぱいです。最後まで肩の力を抜くことなく、胸を張って下船を迎えます。一ヶ月間本当にありがとうございました。



平成26年度 サイパン「海外体験学習」に関して

国際部 篠原大亮

来年度 平成26年度から、新しい類型である「国際系」と「海洋系」が新二年生で始まります。その新しい「国際系」の生徒を対象として、サイパンでの「海外体験学習」を新設することを計画しています。(※概要は下に記載)

このプログラムに参加すれば、「国際系」の生徒達は、隣国である韓国を航海学習で訪れ、さらに英語圏であるサイパンを訪れることになります。(今までは「海洋系」でなければサイパンを訪れる機会はありませんでした。)

韓国とサイパンでは文化、言語、対日外交の態度などが大きく異なります。その違いを感じたり、実際に両国の学生と交流したりすることで、生徒たちは国際的な感覚を豊かにすると考えています。

必修ではなく希望制となりますが、国際部ではできるだけ多くの生徒をサイパンに連れて行きたいと考えています。

私は、来年度の交流プログラムの交渉・姉妹校調印と生徒指導を兼ねて、今年度の「海洋系」の生徒がサイパンで国際交流を行う際に現地に赴きました。

交流高校であるサイパンサザンハイスクールで実際に交流をおこなう中で、私は生徒達の目が輝いているのを見ました。実際に英語が通じた喜び、伝えられずもどかしく感じる思い、文化の違いによる驚き、それらは確実に彼らの国際感覚を豊かにし、外国語学習へのモチベーションを高くすることと思います。生徒の中には「先生、俺これから英語勉強します。」と宣言する者もいるほどでした。

「海外体験学習」では、「海洋系」が行っている交流内容に加え、さらにホームステイのプログラムも予定しています。さらに交流を深められることでしょう。

新しい「国際系」の生徒には、できるだけ多くの生きた体験をさせ、学校の授業だけでは身に付けられない「感覚」を得て欲しいと考えています。

保護者の方々には多大なご負担をおかけするプログラムではありますが、ぜひとも参加をご検討いただけると幸いです。

なお、「海洋系」の生徒も対象とするかどうかは現在検討中です。

以下の写真は先月の「海洋系国際航海学習」交流の様子です。



平成26年度 サイパン「海外体験学習」 ※計画中です。変更の可能性あり

1. 開催時期: 2015年3月
2. 期 間 3泊4日
3. 宿泊場所 1泊目 ホテル
2泊目 ホームステイ
3泊目 ホームステイ
4. 費用: 10万円程度 航空券含む(参加人数によって変更あり)
5. 交通手段: 航空機
6. プログラムの内容:
 - ① 姉妹校 サイパンサザンハイスクール(SSHS)との国際交流
(プレゼンテーション, 文化交流)
 - ② SSHSの英語での通常授業を現地生と共に受ける。
 - ③ SSHSの生徒の家族とホームステイ
(3泊目にホストファミリーと学校でパーティー)
 - ④ 現地観光・平和学習

※二年生国際系「海外体験学習」に関しては、平成26年2月22日の保護者会において、国際系生徒の保護者の皆様にご説明する予定です。

【潜水部遠征報告】

平成25年 第20回全日本スポーツダイビング室内選手権大会 大会結果

12月15日(日)に千葉県国際総合水泳場においてダイビング室内選手権大会があり、潜水部の諸君が出場しました。入賞の種目は以下の通りです。



50M フリッパー (男子) 高校生の部

優勝 土子 修平 (大会新記録)

【文部科学大臣賞】

準優勝 梅津 光良

400M フリッパーリレー (男女混合)

第6位 都立大島海洋国際高校 Aチーム

梅津 光由・土子 修平

川崎 洸生・馬嶋優美

50M フリッパー (男子) 総合の部

準優勝 土子 修平

第6位 梅津 光良